

環境委員会

委員一覧 (20名)

| | | | |
|-----|-------------|-------------|-----------------|
| 委員長 | 島尻 安伊子 (自民) | 岸 宏一 (自民) | 櫻井 充 (民主) |
| 理事 | 高橋 克法 (自民) | 佐藤 信秋 (自民) | 長浜 博行 (民主) |
| 理事 | 中西 祐介 (自民) | 中川 雅治 (自民) | 浜野 喜史 (民主) |
| 理事 | 水岡 俊一 (民主) | 中曾根 弘文 (自民) | 杉 久武 (公明) |
| 理事 | 市田 忠義 (共産) | 山谷 えり子 (自民) | 水野 賢一 (みん) |
| | 岩城 光英 (自民) | 吉川 ゆうみ (自民) | 清水 貴之 (維新) |
| | 尾辻 秀久 (自民) | 小見山 幸治 (民主) | (26. 10. 14 現在) |

(1) 審議概観

第187回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件及び本院議員提出2件(本院継続)の合計3件である。内閣提出1件は可決し、本院議員提出2件は衆議院解散のため、審査未了となった。

また、本委員会付託の請願6種類19件は、衆議院解散のため、審査未了となった。

〔法律案の審査〕

日本環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律案は、福島県内の放射性物質に汚染された土壌や廃棄物を貯蔵する中間貯蔵施設に関し、国の責務を規定し、その中核として「中間貯蔵開始後30年以内に、福島県外で最終処分を完了するために必要な措置を講ずる」旨を明記するとともに、日本環境安全事業株式会社を中間貯蔵・環境事業安全株式会社に改組し、その事業に中間貯蔵に係る事業を追加する等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、輸送や中間貯蔵における安全対策、最終処分に向けた取組等

について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査〕

第186回国会閉会後の7月15日、東京電力福島第一原子力発電所の事故収束に向けた取組等に関する実情調査のため、福島県において視察を行った。

10月16日、浄化槽の維持管理、敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合、環境大臣の国政への取組姿勢、CCS(二酸化炭素回収・貯留)の導入、再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直し、廃棄物処理法施行以前の産業廃棄物埋立処分による土壌汚染問題等について質疑を行った。

11月6日、指定廃棄物最終処分場の候補地選定の進め方、望月環境大臣の政治資金問題、環境影響評価法の対象事業、我が国の温室効果ガス排出削減目標の検討状況等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成26年10月14日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○平成26年10月16日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 浄化槽の維持管理に関する件、敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合に関する件、環境大臣の国政への取組姿勢に関する件、CCS(二酸化炭素回収・貯留)の導入に関する件、再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直しに関する件、廃棄物処理法施行以前の産業廃棄物埋立処分による土壌汚染問題に関する件等について望月国務大臣、小里環境副大臣、北村環境副大臣、高橋環境大臣政務官、福山環境大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

高橋克法君(自民)、浜野喜史君(民主)、水岡俊一君(民主)、水野賢一君(みん)、清水貴之君(維新)、市田忠義君(共産)

○平成26年11月6日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 指定廃棄物最終処分場の候補地選定の進め方に関する件、望月環境大臣の政治資金問題に関する件、環境影響評価法の対象事業に関する件、我が国の温室効果ガス排出削減目標の検討状況に関する件等について望月環境大臣、高橋環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

櫻井充君(民主)、水野賢一君(みん)、清水貴之君(維新)、市田忠義君(共産)

○平成26年11月11日(火) (第4回)

- 日本環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律案(閣法第5号)(衆議院送付)について望月環境大臣から趣旨説明を聴いた。
- また、同法律案について参考人の出席を求め

ることを決定した。

○平成26年11月13日(木) (第5回)

- 日本環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律案(閣法第5号)(衆議院送付)について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

独立行政法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター長 大迫政浩君

立命館大学国際関係学部教授 大島堅一君

[質疑者]

中西祐介君(自民)、長浜博行君(民主)、杉久武君(公明)、水野賢一君(みん)、清水貴之君(維新)、市田忠義君(共産)

○平成26年11月18日(火) (第6回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 日本環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律案(閣法第5号)(衆議院送付)について望月環境大臣、小里環境副大臣、福山環境大臣政務官、青木国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

中西祐介君(自民)、岩城光英君(自民)、櫻井充君(民主)、小見山幸治君(民主)、杉久武君(公明)、水野賢一君(みん)、清水貴之君(維新)、市田忠義君(共産)

(閣法第5号)

賛成会派 自民、民主、公明、維新

反対会派 みん、共産

なお、附帯決議を行った。